

【取下書】について

取り立てが不能になった場合や申立て自体を取り下げる場合は、【取下書】の提出が必要です。

以下は、取下書の記載例です。

記載例①は、すでに取り立てを行っており、残額について取下げを行う場合の記載例です。

記載例②は、取り立てをせず、申立ての全部を取り下げる場合の記載例です。

記載例は記入箇所が赤くなっておりませんが、実際の記入は、黒のボールペンで行ってください（鉛筆不可）。

※ 取下書には、債務者（相手方）＋第三債務者（相手方勤務先）分の通知用副本と切手（80円）が必要です。以下を提出してください。

取下書・・・裁判所用と合わせて3通

切手・・・80円×2枚

【記載例①】

平成123年(ル・ナ)第456789号

裁判所から付された事件番号
を記入します。

債権取立届兼取下書

〇〇地方裁判所第〇民事部 御中

平成22年 6月 6日 (※提出日を記入。郵送の場合は記入日)

債権者 桜 咲子 (※あなたの氏名)

債権者 桜 咲子 (※あなたの氏名)

債務者 山田 太郎 (※相手方の氏名)

第三債務者 〇〇工業株式会社 代表取締役社長 川野 次郎
(※相手方の勤務先)

上記当事者間の債権差押命令に基づき、債権者は第三債務者から平成22年5月31日(午前・午後) 10時 金 150,000円を取り立てたので届けます。

なお、取り立ては

支払を受けた日時、金額を記入します。

- 1 全額完了しました。
- 2 まだ継続しています。
- 3 残額については、取立不能ですので、既に取り立てた金 300,000円を除くその余を取り下げます。

これまでに支払いを受けた合計額を記入します。

【記載例②】

平成123年(ル・ナ)第456789号

裁判所から付された事件番号
を記入します。

取 下 書

〇〇地方裁判所第〇民事部 御中

平成22年 6月 6日 (※提出日を記入。郵送の場合は記入日)

債権者 桜 咲子 (※あなたの氏名)

債 権 者 桜 咲子 (※あなたの氏名)

債 務 者 山田 太郎 (※相手方の氏名)

第三債務者 〇〇工業株式会社 代表取締役社長 川野 次郎
(※相手方の勤務先)

上記当事者間の債権差押命令申立事件につき、債権者は申立ての全部を取り
下げます。